

大阪市港区将来ビジョン 見直しの視点 及び 方向性の案

4. 子育て世代が魅力を感じるまちづくり					
	「将来ビジョン」の記載内容	成果目標(アウトカム)	成果目標の達成状況	これまでの取組	成果と課題
	(3) 子どもの学ぶ力、生きる力の育成 ①福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援を学校園と協働して取り組みます。 ②学校園と連携し、特色ある学校づくりの支援や就学制度の改善、中学校給食の導入、学校適正配置、幼稚園の民営化などの課題に取り組みます。 ③学校教育、家庭教育を支援するボランティアの活動を支援するとともに、ボランティア人材情報を的確に学校へ提供します。 ④学校・家庭・地域の協働による子どもの見守りや健全育成などの様々な取り組みを支援します。 ⑤子どもたちの豊かな社会性を育むため、商店街や企業、地域団体と連携して、子どもたちの体験学習や職業体験、インターンシップの機会の充実を図ります。 ⑥豊かな情操や学ぶ力を育むため、絵本に親しむ機会の充実を図るなど、ボランティア団体等と連携し、子どもの読書活動を推進します。 ⑦五感を使った体験活動によって生きる力を育むため、子どもの外遊び、野外活動、スポーツの機会の充実を図ります。	「子どもは、家庭学習が習慣になっている」と答えた保護者の割合 平成24年度(現状値) 64% 平成25年度 66% 平成26年度 68% 平成27年度 69%以上	平成24年度(現状値) 64% 平成25年度 44.5% 平成26年度 53.0% 平成27年度 — ※区民モニターの回答者のうち小・中・高等学校のこどもをもつ保護者は平成26年度で181人(平成25年度は218人)と対象者数が少ないことから、年度によって数値のばらつきが大きくなる。 ※26年度における参考数値 学校における類似アンケート(把握校数10校) 68%以上の学校数:5校 68%未満の学校数:5校	①福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援 ・スクールソーシャルワーカー巡回・派遣事業【H25年度～】 ・発達障がいサポート事業【H25年度～】 ・別室登校等サポート事業【H26年度～】 ・港区サードプレイス事業「エルカフェ」【H27年度～】 ②特色ある学校づくりの支援や就学制度の改善、中学校給食の導入、学校適正配置、幼稚園の民営化など ・南市岡3丁目の校区変更の決定【H25年度】 ・学校選択制の実施【中学校H26年度入学～、小学校H27年度入学～】 ・中学校給食の導入【H26年度～】 ・幼稚園連絡会の開催【H25年度～】 ③学校教育、家庭教育を支援するボランティアの活動を支援するとともに、ボランティア人材情報を的確に学校へ提供五感を使った体験活動によって生きる力を育むため、子どもの外遊び、野外活動、スポーツの機会の充実を図ります。 ・広報みなと、区ホームページでの学校ボランティアの募集記事の掲載【H26年度～】 ・発達障がいサポート事業【H25年度～】＜再掲＞ ・別室登校等サポート事業【H26年度～】＜再掲＞ ・絵本による読書活動促進スタートアップ事業【H25年度～】 ・港区サードプレイス事業「エルカフェ」【H27年度～】＜再掲＞ ④こどもの見守りや健全育成など ・こども110番の家事業の研修会の開催、青少年指導員・青少年福祉委員委嘱業務にかかる事務支援業務の事業化、また青少年指導員・青少年福祉委員委嘱業務のための活動交付金の交付、マップの作成配布【H26年度～】 ⑤商店街や企業、地域団体と連携して、子どもたちの体験学習や職業体験、インターンシップの機会の充実 ・港区WORKS探検団(子どもの企業見学・体験)【H24年度～】 ・こどもの起業体験セミナー「ニューキッズベンチャー」【H24・25年度】 ・こどもサイエンスカフェ事業【H25年度～】 ⑥絵本に親しむ機会の充実を図るなど、ボランティア団体等と連携し、子どもの読書活動を推進 ・絵本による読書活動促進スタートアップ事業【H25年度～】＜再掲＞ ⑦五感を使った体験活動によって生きる力を育むため、子どもの外遊び、野外活動、スポーツの機会の充実を図ります。 ・こどもサイエンスカフェ事業【H25年度～】＜再掲＞ ・小中学校でのスケート教室【H26年度～】 ・みなとわんぱくまつり【S57年度～】 ・こどもパラダイス【H19年度～】 ・区民まつりの拡充【H25年度～】 ※1 学力向上の取組み ・『家庭学習の手引き』の作成・配布【H26年度～】 ・教育フォーラムの開催【H26年度～】 ※2 港区の強みを活かした取組み ・こどもサイエンスカフェ事業【H25年度～】＜再掲＞ ・英語大すき！わくわく体験・ドキドキ交流事業【H26年度～】 ・子ども向け読本『港区たんけん手帳』【H26年度～】 ※3 分権型教育行政の推進 ・学校協議会の運営の支援、委員推薦の区独自の基準の策定【H24年度～】 ・区教育行政連絡会の設置【H26年度～】 ・保護者・区民等の参画のための会議(港区教育会議)の設置【H27年度～】	【成果】 ・学校園との連携を強化し、就学制度の改善や特色ある学校づくりの支援などを行った。 ・港区独自のさまざまな教育事業を「課題を抱える子どもや家庭を支援」と「区の特性や強みを活かす」の2つの観点に立って実施し、子どもの学ぶ力、生きる力の育成に積極的に取り組んだ。 【課題】 ①いじめや不登校への早期対応、児童虐待の深刻化や少年非行・犯罪の低年齢化等に適切に対応するため、教育相談体制の充実を図っていくことが必要。 ②中学校給食において、おかずの冷たさを給食を残食する理由として挙げる生徒が大多数となっていること、またアレルギー対応をより充実することが必要。 ②港区内の11小学校のうち5校が、今後適正配置の対象の11学級以下の学校で、そのうち4校は今後全学年単学級になるなど、児童数がより少なくなる見込み。 ③学校支援のボランティアの人材不足。 ※1 全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、依然として全国平均や大阪市平均との差がある項目がある。 ※2 保護者や地域住民の意見を学校に反映させるための学校協議会の活性化など、分権型教育行政を推進する。
	課題を踏まえた見直しの視点及び方向性の案	4. 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり (3) 子どもの学ぶ力、生きる力の育成 ○児童・生徒の学力・体力の向上 ①学校園と連携し、区の特性や強みを活かした教育や家庭教育支援に取り組むとともに、特色ある学校づくりの支援に取り組みます。 ②子どもたちの豊かな社会性を育むため、商店街や企業、地域団体と連携して、子どもたちの体験学習や職業体験、インターンシップの機会の充実を図ります。 ③豊かな情操や学ぶ力を育むため、絵本に親しむ機会の充実を図るなど、ボランティア団体等と連携し、子どもの読書活動を推進します。 ④五感を使った体験活動によって生きる力を育むため、子どもの外遊び、野外活動、スポーツの機会の充実を図ります。 ○児童・生徒の教育環境の向上 ⑤福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援を教育相談等を通じて学校園と協働して取り組みます。 ⑥学校教育、家庭教育を支援するボランティアの活動を支援するとともに、ボランティア人材の確保に取り組みます。 ⑦学校や地域などと協働し、子どもの見守りや健全育成などに取り組みます。			